（第三種郵便物認可　大正八年三月七日）

二十日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

待望の平驛前——廣場舗裝實現近し

今日から側溝工事着手

驛前縣道も舗裝計劃

平驛前町有地を鐵道省に無償寄附するに當り非公式の交換條件たる平驛前廣場の舗裝案はその後鐵道省當局で調査設計中であつたがその前提として先づ同廣場と田町大通りに通ずる驛前縣道の間並に西側住吉屋支店前一帶に側溝を設置する事になり平土木監督所小林所長と屢々協議を進めてゐたが、愈々總工費六百圓を投じて側溝工事に着手する事になり今二十日早くも南側縣道と驛前廣場間の側溝工事に着手したが、此の側溝工事開始と連絡して住吉屋支店の南側から世界館前を通して貨物取扱所側の堀に注ぐ側溝工事に着手する事となつた。尚驛前側溝工事竣成後鐵道當局では豫定の廣場舗裝に着手するものと見られて居るが、同驛前縣道も廣場舗裝と同時に着工の豫定で目下小林土木所長の手で設計中。

小名濱築港大疑獄

昨日控訴審決審

大立者樗木は實刑十ヶ月

檢事の求刑より重刑

地方稀有の大事件として知られた小名濱商港築港大工事にからまる大疑獄事件の大立者元内務省小名濱出張所樗木篤夫（四二）並に湯本町字辰の口トラック業者長岡義守（五〇）兩名に係る控訴公判は去る六日宮城控訴院青山檢事から原審通り樗木は懲役一年但し三ヶ年間執行猶豫（追徵金二千三百六圓四十八錢、長岡は罰金八十圓のそれぞれ求刑通り罰金八十圓の判決言ひ渡しあつた。

尚樗木は第一審平支部に於ける求刑懲役一年六ヶ月に比しては遙に輕い判決であるが、第一審の懲役一ヶ年三年間執行猶豫の判決に比しては二ヶ月を減られてゐるが實刑を課せられてゐるので遙に重刑で檢事の求刑より も重刑を言ひ渡された事は同院に於いても遠例の事であり右判決は滿廷の傍聽者を驚ろかせた。

多門未亡人から町長へ禮狀

種團体を代表して前關東軍司令官本庄繁、現關東軍司令官菱刈隆兩大將並に故多門元第二師團長遺族に宛て感謝の電報を發したに對し今二十日故多門中將遺族房子未亡人の名を以つ鄭重な謝電を感謝する旨懇篤な禮狀が青沼町長宛到着した。

四倉管内消防組頭會

四倉警察署では今二十日午後二時から管内二町四ヶ村消防組頭會を召集し近付く火災シーズンの對應策その他を協議した。

▲磐女陸上競技會

縣立磐城高等女學校では來月十七日に恒例の同校創立記念陸上競技大會を開催。

□□□□□□□□□風紀改革の血祭に

藝妓メ吉、吉成槍玉に上る

四倉署の斷然たる態度に

恟え上る四倉花街

四倉警察署では最近同町花柳界の風紀は極度に紊亂してゐるので屢々組合當局に注意を促してゐたが依然として弊風改まらないので遂に一齊掃蕩を決意數日來異狀な緊張を以つて注視中此の程同町仲町藝妓置屋金房事高根寅次郎方抱藝妓〆吉事作田マタマ（一九）同家抱藝妓吉成事小竹館大平館に入り込んで風紀を亂した事實あるのを上山刑事が探知し十九日兩名を檢擧嚴重取調た結果賣春行爲を自白したので花街風紀取締開始の血祭りとして拘留三日の即決處分を言ひ渡したが、同署の此の斷然たる態度に同地花街は恟々としてゐる。

糸瓜コロンの……製法秘傳公開△△△

市價の二十分の一の生産費で

神谷農試分場の企畫

神谷農試分場では農家の副業奬勵の爲め糸瓜コロンの作製研究を總動員して平町市内で販賣を中であつたが既の程見事に完成收めたので去十八日から練習生を總動員して平町市内で販賣を開始したが、計り賣り市價一圓現在市場に販賣されてゐる同種内外のものが四十錢で一般町家の物に比して遙に優秀な成績をは勿論花街方面からの需要多くが、農村ばかりでなく一般でも婦人、老人なぞが糸瓜栽培の趣味かあれば充分に副業としての利益を上げる事が出來るのです……

その製法は

ヘチマの實の採取後地上約二尺位いの處から莖を切りその切口を瓶の中に入れて密閉して一晝夜置くと約一升五合内外のヘチマ液が採れる、此れを更らに一日位い密閉して置くと自然に沈澱するからその上水を鍋に入れて沸煮する。斯くて出來上つたヘチマ水の中に二三の藥品を混入すれば完全なヘチマコロンが出來上るのだが、その割合ひはヘチマ水四百グラムに對しアルコール四〇グラム、グリセリン二〇グラム、硼砂五グラム、それにベルモットかその他の香油を二三雫落せばよいので此の生産費十一錢七厘、一升が約五十錢内外で出來る譯。然も市價は一合一圓内外と言ふのだから有利なものである事は此れだけでも想像出來る

モメントで殉職者追悼

來る二十四日

磐城セメント四倉工業所では二十四日午前十時から同工業所内で會社創立以來田村郡瀧根村石灰山に於ける殉難職工十一名並に同工業所に於ける殉職者十四名合計二十五名の殉職者追悼會を催す事になつた。

情痴の人妻

若い燕と戀の道行

夫の金を持ち出して

茨城縣久慈郡大子町大字上岡居住石城郡内郷村大字宮生れ菊地喜代松妻とし（四三）は親子ほども年の違ふ同郡低上村星伊勢松長男正吉（二一）と今春頃から戀愛關係に陷り去月初旬夫喜代松に現場を發見その不心得を懇々と說されたが戀に狂つたとしは若い燕正吉の情が忘れられず去十日夜夫喜代松の貯金百餘圓を引出して手に手を取つて駈落ち妻の實家内郷村附近に潛伏してゐる形跡があるから捜査して欲しいと二十日平署に願出た。

ハヤシ子供婦人洋服店

平町三丁目角マルトモ書店前に

けふから子供婦人洋服店を開業した林一郎氏は永らく東都各デパートの納品製造に從事してゐた人で優秀な專門の技能を有してゐる人であるから一般の期待通り人氣を博すであらうと言はれてゐる。尚ほ二十日から三十日までは開店披露の意味で景品を贈る由である。

古峯神社昇格運動

三阪村大字中三阪地内の路傍に

ある小祠古峯神社を村社に昇格すべく氏子總代同村大竹義隆外數名は出縣陳情する事になつた。

セメント瓦製造機械製作販賣
日本型
洋型
最新型各種
（御一報次第型錄呈上）
福島縣四倉驛前
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

▲第一校陸上運動會
平町第一小學校では來月五日午前八時から同校庭で秋季陸上運動會を擧行。

▲高坂校競技會
內郷村高坂小學校では二十三日午前九時から同校庭で陸上運動會を催す。

▲四倉合同總會
四倉驛前合同運送株式會社の第十五回定時株主總會は來る三十日午後一時より同社內に開催する。

水密桃罐詰
農試分場で製作

神谷農試分場では今年栽培の水密、金桃種、白桃種の罐詰製作を計劃矢ヶ崎技手指導の下に練習生全員で製作したが成績如何によつて來年度には大々的製作と農村の副業として奬勵する筈で試驗結果は注目されてゐる。

腕を撫す 獵天狗連

深み行く秋に田の面や四圍の山野が狐色の濃度を增して行くといよいよ山奧に銃聲がこだまして獵天狗連の世界が現出されるが、解禁來月十五日の雀類を皮切りに十一月一日の雉子、山鳥十二月一日よりは地方には余り緣の深くないきつね、たぬきその他五獸類の禁がゆるされるので地方の獵手は早くも發奮振りその他これが噂に花を咲かせてゐるが、この方面における通人の話によると

石城郡內では永戸、箕輪、上遠野方面の山間部が最良區で大事な季節に天候が不順でその發育を多少はばまれたが左程悲觀するに足らぬとある。平署でも弗々管內の獵手簿調査に着手今年の免許狀下附百卅名位と觀て準備中である

涼風を追ふてドライブを
タクシーは尼子へ
車体優美……御用命は
親切迅速をモットーとす
尼子タクシー
電六四〇番
洗練されたサービスは
完全に皆様の
使用を果します

見習徒弟募集
委細面談
加納活版所

和田眼鼻咽喉專門病院

店主が店員を連れて行かれる
正シキ食堂
正シキ喫茶
正シキ酒場
平・田町
レストランサロン
電三五二

子供婦人服……開店御披露
開店 二十日より三十日まで 粗品……進呈
今迄で東京にてデパート納品製造に從事致しました……
斷然……お安く賣ります
ドーゾ御引立下さいませ
流行の尖端を誇る
一粒選りの新柄と新型を
注文裁縫
生地裁賣……勉强致します
男學生 小倉服長ズボン 一・二〇より
仝 ラシヤ製 三・二〇より
女子通學服セーラー 二・二〇より
新柄文化コート 一・二〇より
小兒實用セター 五五より
仝半ズボン 三五より
附屬品……各種
素晴しく……安い
ハヤシ子供婦人洋服店へ
平町三丁目角（マルトモ書店向）

吉田眼科病院
平町紺屋町（電話六八番）

蒲鉾製造開始
夏季海水浴期間中は特別の御引立に預り有難く御禮申上ます、例年の通り蒲鉾製造を開始しましたから倍舊の御引立を願上ます
かまぼこ折詰
御料理仕出し
四倉町本町東通り
（見習者入用十五六才以上男女）
米好蒲鉾店
電話（呼出）十九番

化粧品、理髮器具一式
クリーム、ポマード……ハカリ賣り
安全剃刀（自動研皮砥付）
白衣と鏡（大小各種）
芳香園理髮器具店
平驛前（電話六八〇番）

磐城名物
北海屋のもち飴
箱入二十錢より
平町二丁目、北海屋商店
電話三八八番

平驛前
昭和タクシー
電話三四三
三四〇

建築材料の御用命は
「今一番勉强の當店へ」
かや優良材、碁、將棋盤（新品格安急讓り度し）
銘木一
建具材
建築材料式
織田材木商店
平町紺屋町
電話四六〇番